

政宗公
生誕
450年

“伊達な文化”をPR！日本遺産認定シンポジウム

「日本遺産」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、平成28年4月に「政宗が育んだ“伊達”な文化」として3市1町（仙台市・塩竈市・多賀城市・松島町）に残る文化財とストーリーが認定されました。

そこで日本遺産認定を記念して、平成29年3月20日（月）にシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは構成文化遺産の一つである県指定無形民俗文化財「大沢の田植踊」が上演されたほか、トークショーでは元仙台市博物館長・佐藤憲一先生や歴史に関心の高い俳優の村上新悟さんやタレントの小日向えりさんが「政宗が育んだ“伊達”な文化」の魅力について語っていただきました。

さらにパネルディスカッションでは、認定された各市町の代表の皆様等と「日本遺産で地域を変えよう」というテーマのもと、今後のまちづくりや観光振興について熱い議論を展開されました。



政宗公
生誕
450年

伊達武将隊が皆様へPR！みやぎまるごとフェスティバル

みやぎまるごとフェスティバルは、宮城県の豊かな食材や食文化・職人の技が一堂に会する秋の一大イベントで、平成29年10月14日（土）と15日（日）の二日間、勾当台公園・市民広場を中心に開催されました。

フェスティバル当日は、「食材王国みやぎ」が誇る多様な市町村の特産品の販売や、伝統工芸品の展示販売等があり、たくさんの方で賑わいました。

会場に設けられた特設ステージでは、寄席やキャラクターショー、県産品を使ったクッキングショーなど様々なイベントが行われ、14日には伊達武将隊による政宗公生誕450年トークイベントが開催されました。

トークイベントでは始めに武将隊が華麗な舞を披露した後、政宗公自らが今年に懸ける意気込みや現在の仙台で暮らす人々へ想いを伝えました。そして会場の皆様とじゃんけん大会を開催し、勝ち抜いた人には生誕450年記念グッズのプレゼントと記念撮影を行いました。



政宗公
生誕
450年

インバウンドでもPR！外国人観光客おもてなしセミナー

宮城県を訪れる外国人観光客は年々増加しており、県では外国人観光客受入対応スキルの向上や地域の魅力の再発見につなげるために、全5回のカリキュラムで「外国人観光客おもてなしセミナー」を県内5地域にて開催しました。

セミナーでは、本県を訪れる外国人観光客の傾向や英語・中国語の簡単おもてなしフレーズのほか、観光現場で働く皆様に宮城ならではの「おもてなし」について新たな視点で見つめ直してもらおうと、「仙台・宮城の歴史」や「伊達文化」に触れながら観光コンテンツをPRする方法を紹介しました。

ワークショップでは、地元を題材にしたツアーを作る中で、外国人観光客の関心も高まっている歴史・文化をテーマに取り込もうと、政宗公にちなんだ観光コンテンツを組み合わせたツアーを複数のチームが考案しました。

